

◎「会員だより」

1月号の大石会長の「新年の御挨拶」では、アメリカは5年で100兆円のインフラ投資を決定したことを背景に、日本でも積極財政論が堂々と議論できるようになりつつあるといったことを書かれていて、まさにそのとおりだと思いました。積極財政に直ぐに対応できるよう、インフラ投資に対する準備を怠らないようにすべきだと再認識しました。
匿名希望（都道府県勤務、50）

1月号の「水門・陸閘自動閉鎖システムの整備と今後の課題」は自身の専門分野以外の話でしたが、実運用における課題をしっかりと見極めた内容で、このような着眼点を持つことを忘れないよう心掛けたいと思います。
匿名希望（高速道路会社勤務、52）

1月号の「災害発生！そのとき」の「集落孤立という現場に直面して」が参考になりました。土木職員ではない視点で書かれた、非常事態での時系列にそった発生事案とその対応であり、なおさら生々しく感じました。このような記事を参考にすることで、頻発化・激甚化する災害への備えができるのではないかと思います。
匿名希望（都道府県勤務、53）

2月号「巻頭言」の中村教授の「サステナブルなインフラメンテナンス」を読みました。技術者が減少していく中で、計画だけでなく、組織のサステナブルについて考えていくことが非常に重要と感じます。
匿名希望（市町村勤務、32）

2月号の「特集」の「道路橋石橋（石造アーチ橋）の定期点検に関する技術資料の作成」では、今のような基準が明確でない時代に、職人の技術・経験が垣間見られる仕事に感銘を受けました。また、その芸術的構造物を今の基準や職人で修繕することの難しさを感じました。
堀貴宏（和歌山県勤務、48）

2月号の「特集」で「ふくしまME」を読んで、産学官連携による取組が大変重要であると再認識しました。当市からも職員がこの育成講座に参加し技術の習得に努めています。
渡部敏裕（市町村勤務、57）

2月号の大石会長の「上徳不徳」の「全建会員として知っておきたい家康の江戸建設」はとても興味を持って楽しく読むことが出来ました。歴史と絡めて土木の大切さを知ることが出来て良かったと思います。
臼井初美（仙台市勤務、27）

2月号の「技術資格試験合格体験記」の「大事なことはモチベーションの維持！」では、人それぞれに様々なきっかけで資格取得を目指していることが印象的でした。
匿名希望（都道府県勤務、44）

2月号の「学ぶ・つなぐ・広げる」の「技術は人なり」人材育成の取り組み」を読みました。技術力向上に向けた技術発表会の枠組み、参加者の感想等が紹介されていて、参考となりました。
匿名希望（市町村勤務、55）

2月号の「あーきてくと通信」の「健康寿命の延伸とカーボンニュートラルの実現に向けて」は「住宅は命に直結する」を真剣に考えた認証であると思います。山形独自の認証制度ですが、他県も学ぶべきことがあると思います。
匿名希望（都道府県勤務、24）

2月号の「ひろば」の「地域に根差したICT施工普及促進」を読んで、これまでICT施工は、ある程度大規模な工事でない生産性向上に繋がらないと認識していました。ICTの採用工事は増えてきていますが、小規模工事では採用事例が少ないのが現状です。初期コストを抑えることができれば、小規模工事でもこそ活躍する技術だと思っています。
匿名希望（高速道路会社勤務、32）

2月号の「後輩技術者に向けたメッセージ」の「退職して思うこと」を読みました。そこにでてくる「社会との契約」という言葉に、これまであまり意識してなかった公務員技術者としての責任を再確認させられました。この言葉を忘れずに、日々の業務に励みたいと思います。
匿名希望（都道府県勤務、32）

2月号の「会計検査の指摘事例とその解説」は「施工管理の怠慢とコスト意識の甘さが多額の無駄を生む」という無駄についての良い気づきになりました。踏襲や無知による無駄はゼロを目指したいと思いました。
匿名希望（都道府県勤務、57）

毎月「技術資格試験合格体験記」を読んでいます。全国で頑張っている人の声が励みになり、私も1級土木施工管理技士に今年合格しました。
匿名希望（東京都勤務、34）

「公務員技術者の訴訟リスク」は、公に出にくい事例が掲載されており、とても参考になります。道路管理瑕疵や河川管理瑕疵についても、取り上げて欲しいと思います。
古賀忠直（九州地方整備局勤務、53）

「基礎から学ぶインフラ講座」は毎回勉強になります。経験の浅い分野を学ぶ取っ掛かりとしていいと思います。
匿名希望（都道府県勤務、49）

「事例から学ぶ現場力の向上」を毎月の係の勉強会に活用しています。基礎的な事が多いのですが、今だにハッとするような事案が紹介されており、助けられています。
吉和弘道（倉敷市勤務、52）

「地区連の頁」の「若手技術者のコーナー」を読むと初心に戻れ、業務に対する気持ちが引き締まります。これからも続けて欲しいと思います。
駒崎哲也（福井市勤務、43）

◎「会員だより」の投稿を募集

月刊「建設」に関する意見・感想・要望、その他の全建活動（建設技術講習会、伝承プロジェクト、公務員賠償責任保険等）に関する意見・感想・要望、業務上の悩み等をお寄せください。お寄せいただいた意見等は、今後の編集等の参考にさせていただきます。月刊「建設」の「会員だより」に掲載させていただいた場合はクオカードを進呈いたします。詳細は全建HP上のバナーをクリックするか、右のQRコードを読み取ってください。たくさんのご応募をお待ちしております。

一般社団法人 全日本建設技術協会 事業課 峯脇・中嶋
TEL：03-3585-4546 / E-mail：kensetsu@zenken.com

